

(様式1)

平成28年度 学校評価結果報告書(高等学校用)

(1) 学校教育目標	校訓の精神のもと、教育活動をとおして、よりよく問題を解決する力や豊かな人間性、健やかな体などの生きる力を育むとともに、産業の担い手としての資質・能力を身に付けさせ、社会の発展に貢献できる人材を育成する。
(2) 現状と課題	今日の地域状況の中で、意欲ある生徒を確保し、次代を担う職業人を育成することが本校の役割と考える。そのためには、本校の特色ある取り組みや進路状況等を確実にアピールしていくこと、基本的生活習慣の確立と基礎学力の定着に継続して取り組むこと、キャリア教育を更に充実することが必要がある。その上で、各学科の教育内容を生かしながら、新しい理論や技術等を導入したプロジェクト学習等を積極的に推進していかなければならない。
(3) 重点目標	<p>1 基礎学力の定着や主体的に学習に取り組む態度や思考力、判断力、表現力等の育成に努める。</p> <p>2 農業や環境等に関する学習を深め、生命や自然、郷土を大切に作る心等の豊かな人間性を育成する。</p> <p>3 食育や健康・安全教育を推進し、たくましく生きるための健康や体力、安全で快適な生活を送る態度を育成する。</p>
(4) 結果の公表	本校ホームページに掲載する。

学校整理番号	44
学校名	青森県立柏木農業 高等学校
全日制の課程	校舎・分校

自己評価実施日	平成29年 1月27日(金)
学校関係者評価実施日	平成29年 2月9日(木)

(9) -イ 学校関係者評価委員会の構成
学校評議員 4名・PTA会長 計5名

自 己 評 価				学校関係者評価		(10) 次年度への課題と改善策
番号	(5) 評価項目	(6) 具体的方策	(7) 具体的方策による目標の達成状況	(8) 目標の達成度	(9) -ア 学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	学習指導の充実	<p>①生徒や保護者、地域社会のニーズに対応した教育課程を編成し、生徒の多様な進路希望に対応できる学習機会を保障する。</p> <p>②学習内容や教材、指導方法の創意工夫を図り、「わかる・できる」授業の実践から、基礎学力の定着と技能の習得・向上に努める。</p> <p>③資格取得や多面的総合的評価の推進を図り、意欲を持って主体的に学習に取り組もうとする態度を養う。</p>	<p>学習指導要領と生徒の実態等を考慮した教育課程の編成に努め、各教科・科目とも特に問題なく取り組むことができた。</p> <p>研究授業、公開及び互見授業を計画的に実施した。今後、具体的改善点等を授業に反映できるように工夫していきたい。校内研修では、校外研修受講者に報告をしてもらい、研修成果の還元に取り組んだ。更に充実していきたい。</p> <p>朝の時間を利用して、学び直しや一般常識問題等に取り組ませた。各教科・学科では、資格取得に向けて、放課後や長期休業を活用して独自に対応した。また、外部企業・団体とも連携して取り組み、就職希望者への手立てとなっている。</p>	B	<p>(9) -ア 学校関係者からの意見・要望・評価等</p> <p>①社会で通用する基礎学力が身に付くようにする必要がある。</p> <p>②4年制大学への進学は数人いるようだが、ぜひ地元の弘前大学に入学させてほしい。</p> <p>③キャリア教育が重要な時代になってきており、インターンシップはとてもいい経験だと思う。今後も様々な活動に取り組んでほしい。</p>	<p>言語活動の充実については、農業科目のプロジェクト学習等で重点的に実施しているところであり、一般教科での授業でもより積極的にグループワーク等を取り入れたり、新たな取り組みに対してもより計画的に推進していく必要がある。</p> <p>普通教科におけるアクティブラーニングの研究、障害者への合理的配慮の提供など、教員が喫緊の課題に対応できる知識や技術等を習得できるように、校内研修の充実と改善に取り組む必要である。</p> <p>自主的・自発的な学習を育むための指導成果を進路志望の達成に結びつけるためにも、各種コンテストに積極的に参加させる等、更に工夫した指導法を検討、実践する必要がある。</p>

自 己 評 価				学校関係者評価		
番号	(5) 評価項目	(6) 具体的方策	(7) 具体的方策による目標の達成状況	(8) 目標の達成度	(9) -ア 学校関係者からの意見・要望・評価等	(10) 次年度への課題と改善策
2	農業・環境教育の充実	<p>①課題研究におけるプロジェクト学習の充実を図り、自ら考え、実践し、表現する力の育成に努める。</p> <p>②温暖化防止や環境保全に対する意識の高揚を図り、新しい理論や技術の導入に取り組む。また、各学科の特色を生かした指導の充実を図る。</p> <p>③校内での春の大市や鉢花展等、校外での柏農市や各種イベントなどにおいて、販売実習を積極的に推進する。</p> <p>④農業クラブの研究活動や体験活動を通して、生徒の自主的活動の活性化を図る。</p>	<p>科目「農業と環境」と「課題研究」において、プロジェクト学習が計画的に実施されており、生徒各自の考えでレポートを作成、発表会では発表方法を工夫するなど、研究内容や態度も少しずつ向上している。</p> <p>りんご剪定枝回収アタッチメントの改良やりんご剪定枝を活用した水田の雑草防除、空き教室を利用した野菜栽培などの研究を継続するなど、各学科の特色を生かした指導を行うことができた。</p> <p>東京都で開催された全国農業高校収穫祭への参加、修学旅行の京都市内自主研修でのりんご販売をはじめ、多くの生徒が販売実習に取り組んだことにより、コミュニケーション能力の向上につながった。</p> <p>農業クラブ活動では、小学生との交流活動や老人福祉施設でのボランティア活動など、地域との連携を積極的に推進した。</p>	B	<p>①春の苗販売も安全でスムーズに行えるようになった。加工品を販売していた生徒にりんごジュースの原料の品種を聞いたところわからないとのことだったので、授業の中でそのようなことも教えていってほしい。</p> <p>②老人福祉施設に植えられている草花がとてもきれいだったので職員に聞いてみたら、柏農の生徒が「4Hクラブ」の農業青年と一緒にボランティア活動で植栽したと知った。感心するとともに、うれしく思った。</p> <p>③若い人たちが頑張っていると応援したくなる。地元の人たちも柏農を応援している。</p>	<p>プロジェクト学習において、生徒と指導者が一緒に地域の現状を把握しながら、新しい課題を見つけ、生徒の興味・関心を持たせて実践し、生徒の研究成果を地域に発信できるようにしていきたい。</p> <p>農家や企業等と連携して各学科の特色を生かした研究活動や地域支援活動等を行ったり、海外研修を進展させることにより、キャリア教育の推進につなげたい。</p> <p>生徒は、販売実習における接客経験から大きな刺激を受けており、生徒全員がそのような経験ができるように計画していきたい。</p> <p>農業クラブにおいては、異世代交流を更に活発化し、生徒の活動意欲を高めた形で研究活動等を展開できるようにしたい。</p>
3	生徒指導の充実	<p>①基本的な生活習慣や倫理観、規範意識等に関する指導を徹底し、不易で普遍的な価値観の育成に努める。</p> <p>②生徒との望ましい人間関係のもとに生徒理解を深め、他を思いやる心や公共物を大切にすることを育成のために、問題の早期発見や個に応じた適切な指導に努める。</p> <p>③交通安全や不審者等に関する取り組みの充実を図り、事故や被害を未然に防止しようとする態度を養う。</p>	<p>非行の芽は小さなうちに摘み取る「割れ窓理論」の考え方に立脚し、全教職員が個々の生徒が発する小さなサインを見逃さず、開発的・予防的教育相談を意識した声掛けやその場指導の徹底を継続した。</p> <p>スマートフォンの使用マナー一面でのトラブルが多かったが、最近のSNS事情等の講習会及び教職員による個別指導を実施するなど、生徒がトラブルに遭遇することを未然に防止するよう指導の強化に努めた。</p> <p>交通安全教室や防災訓練等を充実したり、日常の注意喚起を効果的に実施するなど、常日頃から事故防止等に努めることができた。</p>	B	<p>①登下校時も含め、容儀や交通マナーの指導を徹底してほしい。</p> <p>②部活動の成績は上がっているし、新聞にいろいろな活動や受賞の記事が載るなど、盛り上げてきている。しかし、農業クラブの発表の成績が振るわないので、生徒の能力をもう少し強化してほしい。</p> <p>③保護者のアンケート結果から、先生方の日頃の努力を感じ取ることができる。</p> <p>④アンケートで出された学校への要望・提案は、取り組めるものがあるのではないかと思いますので、検討・改善をお願いしたい。</p>	<p>基本的な生活習慣が身に付いていない生徒と規範意識の低い生徒に対する対応を今後更に充実発展させていく必要がある。そこで、教員個々の指導スキルの向上と全教員での細部にわたる共通認識を図りながら、きめ細やかに実践していきたい。</p> <p>SNSやスマートフォンアプリ等の正しい使用法の指導を強化することが必要となっており、関係機関・団体等と連携した取組、教員が知識・技術を身に付ける校内研修等の充実が大切である。</p> <p>地域の同窓生や住民から、地域で見掛ける生徒の挨拶や服装が良くなっているという声が寄せられており、今後もこの状況を継続発展していくために更に工夫していきたい。</p>

(11) 総括 今年度の本校教育活動の評価結果をもとに改善を図り、生徒に課題解決能力や豊かな人間性、健やかな体等の生きる力、産業の担い手としての資質・能力を習得させるため、教職員と生徒の相互理解をより深め、更に邁進していきたい。また、各種コンクールへの積極的な参加、各学科の特色を生かした研究活動、販売実習や商品開発を含めたりんご栽培教育などを充実・発展させ、今後も生徒のために誠心誠意努力していきたい。